

平成29年7月4日
にしおわりエフエム番組審議会事務局

にしおわりエフエム第24回番組審議会議事録

1. 開催日時

平成29年7月4日（火） 15時00分から16時30分

2. 開催場所

西尾張シーエーティーヴィ株式会社 2階スタジオ

3. 出席者

番組審議会委員 : 鈴木尚英委員長、加藤俊男委員、川原史子委員、佐藤雅人委員、
北條寿文委員、早川宗徳委員、以上6名
西尾張シーエーティーヴィ(株) : 植田徹治(企画・制作部長)、服部全志(編成制作Gマネージャー)、
神田雅司(編成制作G)

4. 議事内容

(1) 報告事項

＜第23回審議会（2月開催）での答申＞

広報のお知らせの放送切替のタイミングについて

- ・西尾張／4月より広報の音源を受け取り次第順次放送を開始。

高校、大学放送部等との連携について

- ・西尾張／現状未実施の為、次回までに着手。

自治体と連携した災害放送訓練実施について

- ・西尾張／6月4日の海部地方総合防災訓練にて災害想定を基にした避難所解説情報を各自治体協力によりFAXでの提供にて読み上げを実施。

(2) 近況報告

＜特記事項＞

3月1日のNHK名古屋放送局「夕刊ゴジらじ」へのコーナー電話出演、3月20日のつし丸ビュッフェスポット中継、4月19日のNHK名古屋放送局「夕刊ゴジらじ」へのコーナークロス中継、4月22日～5月5日の尾張津島藤まつりステージイベント音響協力、5月2日のお笑い芸人「バッドボーイズ」生出演及びステージイベント音響協力、5月28日のママ・ぷらす主催第6回わくわくチャリティフェスタでのMC出演及びスポット中継、5月29日職場体験 弥富中（3名）、6月13日職場体験 七宝北中（3名）・立

田中（2名）・暁中（2名）、6月21日職場体験 七宝中（2名）について説明。

<災害放送について>

6月4日に行われた海部地方総合防災訓練スポット中継及び災害想定を基にした避難所開設情報を各自治体協力によりFAXでの提供にて読み上げ実施を説明。

<新編成について>

・4月改編番組

「モーニングバラエティ」10時～12時（生放送）、「アフタヌーンバラエティ」12時～14時（生放送）、「BANGなな！」17時～18時（生放送）について説明。

・4月新番組

「心が楽になるラジオ」（30分収録番組）、「よみきかせ」（30分収録番組）について説明。

（3）7月番組編成について

4月より概ね変更は無く、次回改編は10月予定を説明。

- ・川原委員／第6回わくわくチャリティフェスタでのMCは大変良かった。もう少しなみのPRをしてもらっても良かった。
- ・加藤委員／生放送でのゲスト枠が埋まっているのは良い事だが、詳しい内容について話すことが出来ないゲストがいる。蟹江でももっとPRしたい内容が沢山あり深い話も出来るので、せっかく出演するなら濃い内容で放送してほしい。スタジオの出演者が楽しいだけの放送では長い放送時間で間延び感を感じる為、聴取者が楽しい放送を心掛けてほしい。
また、災害放送では時間を決めて実施すれば聞いてもらえるのでは。
- ・川原委員／ボランティアの教育をどのように行っているか。
- ・回答者／3月までは研修を行っており、現在のボランティアは一定のスキルを習得し出演している。新人については、社内でアナウンス研修を受講している社員が今後教育する予定をしている。
- ・加藤委員／教育も大事だが、実地で経験して覚えていくのが一番よいのでは。
- ・北條委員／フェスタの中継は大変良い。蟹江町でも数千人規模で活動している団体が有りイベントも行っているのでは是非中継してほしい。
読み聞かせ番組は良い番組だと思うが、更に「図書館・司書お勧め」といった付加価値が付けられればより良いのでは。
読み聞かせ番組を自社制作にした理由はこういったところか。
- ・回答者／コスト面での理由が大きいですが、番組内容的にこれまでの様な毎日更新でなくても良いという考えから自社制作に移行。
- ・北條委員／災害放送については、分かり切った情報であってもエフエムななみとしてやっていくことが聴取習慣に繋がるのでは。また災害情報だけでなく、自治体としていつでも対策本部を立ち上げる準備をしていると

いった段階の情報でも、住民の安心につながるのでは。

- ・ 早川委員／開局当初に行っていた学校給食のコーナーは良かった。地域の代表とも言える子供たちが出演することで聴取率も上がる。また読み聞かせ番組についても、各学校長お勧めの物語を紹介できれば各校のカラーも出てくるので良いのでは。

（４）その他

＜災害放送について＞ ※6月4日海部地方総合防災訓練での映像を視聴

- ・ 加藤委員／多くの団体が参加する中で、難しい中継だったと思うが良くやった。
- ・ 川原委員／災害訓練ではあったものの、もっと抑揚があってもよかったのでは。
- ・ 北條委員／中継の合間に固定のテロップが使われていたが、レポーターがもう一人いれば全て現場の映像で中継が出来るのでは。

＜次回及び以降の審議会日程について＞

- ・ 火曜日での開催予定が望ましい。

以上にて閉会

文責：西尾張シーエーティーヴィ株式会社 神田雅司